

メール設定マニュアル

メール設定マニュアル

Version 1.0

目次

第1章	はじめに	3
1-1.	ごあいさつ	3
第2章	メールソフトに設定する	4
2-1.	Outlook Express 設定方法	4
2-2.	Mac Mail 設定方法	7
第3章	メールセキュリティ設定	8
3-1.	メールセキュリティ設定について	8
3-2.	SMTP AUTH 設定方法(Outlook Express の場合)	9
3-3.	SMTP AUTH 設定方法(Mac Mail の場合)	11
第4章	スパムフィルター設定について	12
4-1.	メールユーザー用コントロールパネル(Plesk)にログインする	12
4-2.	自動振り分けルール設定	12
4-3.	キーワード振り分けルール設定	13
第5章	よくあるご質問	15
5-1.	メールの送受信ができない	15
5-2.	ウェブメールを使いたい	15
5-3.	メールの受信はできるが送信できない	15



第1章 はじめに

1-1. ごあいさつ

Future Web2 をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、メールソフトの設定、スパムフィルター設定についてご説明させていただきます。

Plesk(メールユーザー用コントロールパネル)の利用方法など、その他のメール機能については、『PLESK8.6 メールユーザガイド』をご準備しております。

以下、弊社のサービスサイトよりご確認ください。

<http://www.futureweb.jp/support/manual.html>

メールソフトの設定については、弊社サイトの【各種設定】からもご確認くださいことが可能です。

<http://www.futureweb.jp/support/setting.html>

第2章 メールソフトに設定する

メールを実際に利用するために、メールソフトへの設定を行います。

2-1. Outlook Express 設定方法

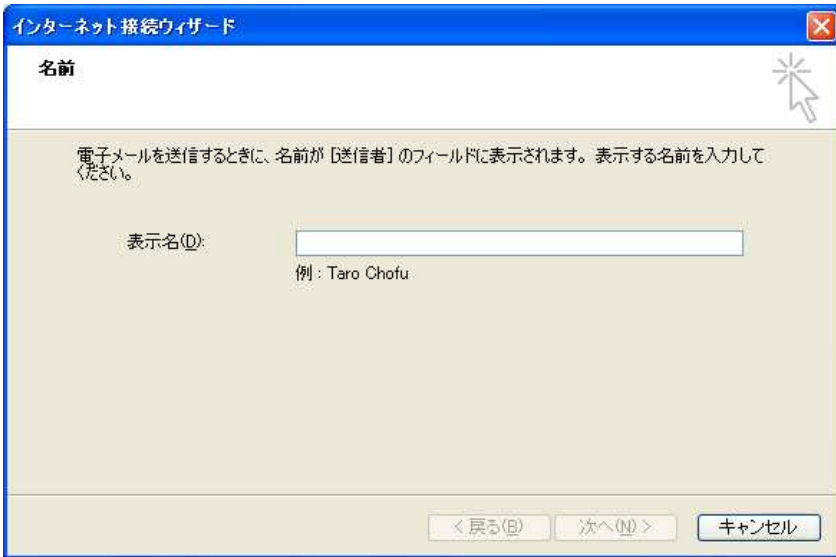
OutlookExpress を起動してください。



メールアカウントの設定を行います。
【ツール】 【アカウント】を選択してください。



【インターネットアカウント】が表示されますので、
【メール】タブをクリックして、
【追加】 【メール】を選択してください。



名前

電子メールを送信するときに、名前が[送信者]のフィールドに表示されます。表示する名前を入力してください。

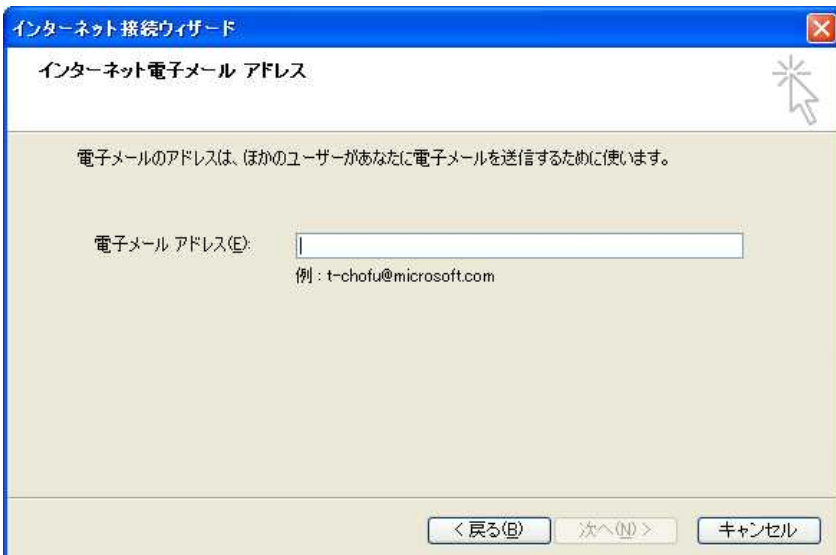
表示名(N):

例: Taro Chofu

<戻る(B) <次へ(N)> キャンセル

「表示名」にお名前を入力してください。
 メールを送信した時には差出人として表示されま
 す。お名前の表記は、どのようなものでもかまいま
 せん。

入力したら<次へ>ボタンをクリックしてください。



インターネット電子メール アドレス

電子メールのアドレスは、ほかのユーザーがあなたに電子メールを送信するために使います。

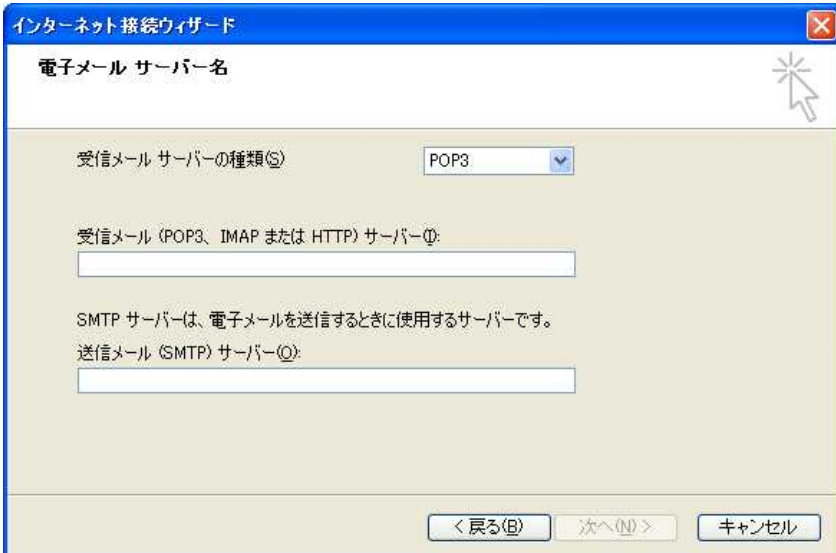
電子メール アドレス(E):

例: t-chofu@microsoft.com

<戻る(B) <次へ(N)> キャンセル

「電子メールアドレス」にドメイン管理者から
 連絡されたメールアドレスを入力してください。

メールアドレスを入力したら<次へ>ボタンを
 クリックしてください。



電子メール サーバー名

受信メール サーバーの種類(S): POP3

受信メール (POP3、IMAP または HTTP) サーバー(O):

SMTP サーバーは、電子メールを送信するときに使用するサーバーです。
 送信メール (SMTP) サーバー(O):

<戻る(B) <次へ(N)> キャンセル

受信メールサーバーの種類が【POP3】に
 なっているかご確認ください。

受信メール/送信メールは以下となります。
 「受信メール」
 pop.ドメイン名
 「送信メール」
 smtp.ドメイン名

入力が完了したら<次へ>ボタンを
 クリックしてください。

インターネット接続ウィザード

インターネット メール ログイン

インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。

アカウント名(A):

パスワード(P):

パスワードを保存する(W)

メール アカウントにアクセスするときに、インターネット サービス プロバイダがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を必要としている場合は [セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する] をオンにしてください。

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する(S)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

「アカウント名」と「パスワード」を入力してください。

「アカウント名」にはメールアドレスを入力してください。
「パスワード」には設定されたパスワードを入力してください。

入力が完了したら<次へ>ボタンをクリックしてください。

インターネット接続ウィザード

設定完了

セットアップを完了するのに必要な情報がすべて入力されました。
これらの設定を保存するには、[完了] をクリックしてください。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

「設定完了」画面が表示されたらメールアカウントの設定が完了となります。

<完了>ボタンをクリックしてください。

インターネット アカウント

すべて メール ニュース ディレクトリ サービス

アカウント	種類	接続
pop.future-s.com	メール (既定)	使用可能な接続

追加(A) 削除(R) プロパティ(P) 既定に設定(D) インポート(I)... エクスポート(E)... 順番の設定(O)...

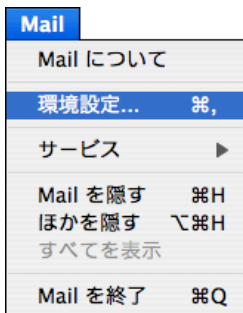
開じる

「インターネットアカウント」の画面に戻ります。

設定したメールアカウント情報が表示されます。

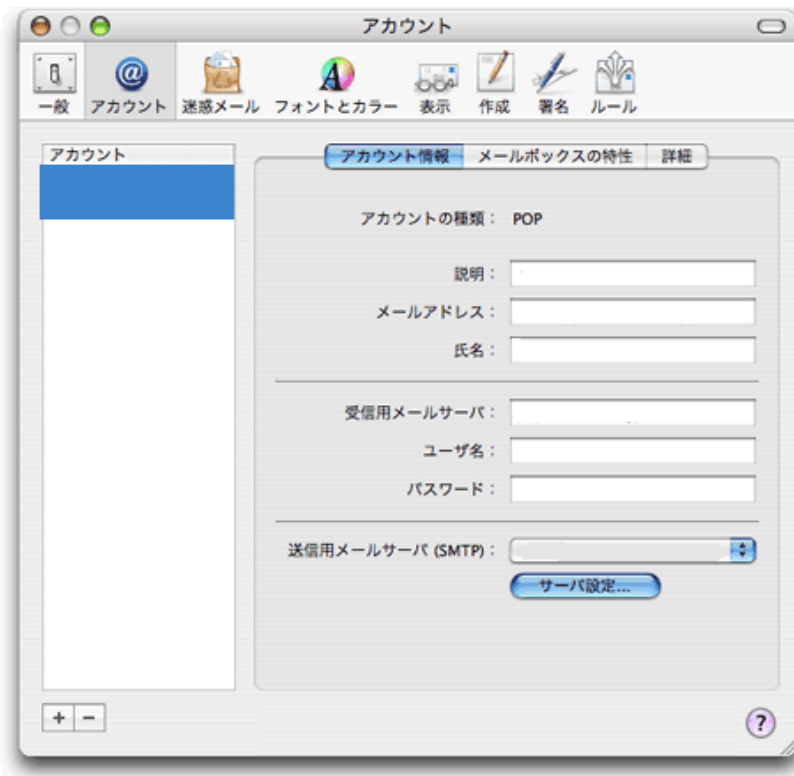
<閉じる>ボタンをクリックしてメール設定を終了してください。

2-2. Mac Mail 設定方法



Mac Mail を起動してください。
[Mail] [環境設定] を選択してください。

[アカウント]が表示されますのでアカウント情報を入力してください。



アカウントの種類 【POP】 になっていることをご確認ください。

説明 アカウントを識別する為にご使用目的にあわせて、わかりやすい任意の名前を入力してください。

メールアドレス ドメイン管理者から連絡されたメールアドレスを入力してください。

氏名 任意のお名前を入力してください。
メール送信時に差出人として表示されます。

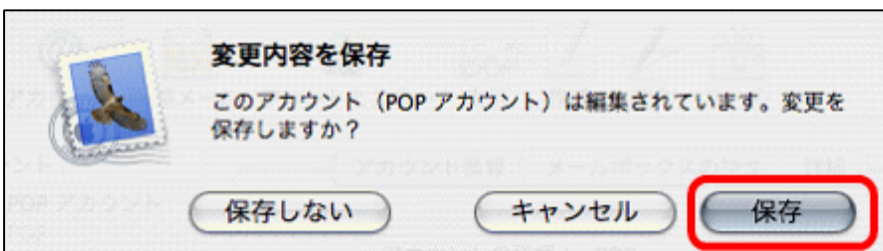
受信用メールサーバー
pop.ドメイン と入力してください。

ユーザー名 メールアドレスを入力してください。

パスワード パスワードを入力してください。

すべてのアカウント情報の入力完了したら画面右下の【サーバー設定】をクリックしてください。

【SMTP サーバーのオプション】が表示されますので、【送信メールサーバー】に smtp.ドメイン と入力してください。
入力したら <OK> ボタンをクリックしてください。



<保存> ボタンをクリックすると、設定完了です。

第3章 メールセキュリティ設定

近年増加している迷惑メールの送信や第3者のメール中継による悪質ないたずら防止のため、FutureWeb2 では「SPAM AUTH」と「POP before SMTP」という2つのメールセキュリティ技術を採用しております。

3-1. メールセキュリティ設定について

「SPAM AUTH」とは

メールを送信する際にSMTPサーバーでユーザー認証を行い、認証を受けた場合のみメール送信を可能とする方式です。この方針を利用することにより、メールの不正中継やメールアドレスの不正利用を防ぐことができるようになり、安全なメール送信が可能です。

利用の際にはメールソフトへの設定が必要となりますので、SMTP AUTH に対応していないメールソフトの場合、この認証方式はご利用になれません。SMTP AUTH に対応している主なメールソフトは以下となります。

Outlook Express
Microsoft Outlook 2000,2002,2003
Netscape Mail
Eudora Pro
PostPet V3
Becky! など

上記以外のメールソフトを利用される場合、POP before SMTP による認証をご利用ください。

「POP before SMTP」とは

メールの受信時にユーザー認証を行い、メールの送信を許可する方式です。

メール受信を行ってから一定の認証期間(30分間)に送信が可能となります。認証期間を過ぎますと再度認証が必要となりますので、送信を行う前にメール受信を行ってください。

利用に際して、メールソフトへの設定などは必要ございませんが、Outlook Express など一部、POP before SMTP に対応していないメールソフトもございます。

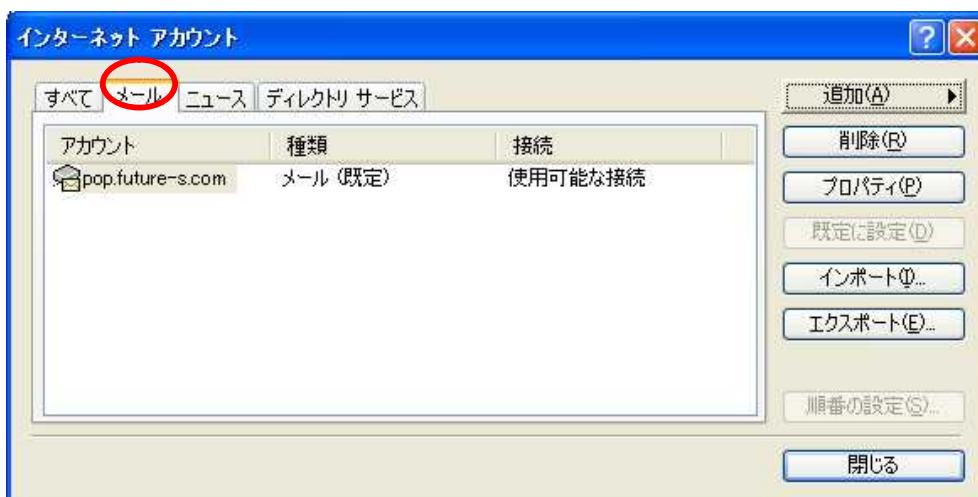
POP before SMTP に対応していないメールソフトを利用される場合には、メールを送信する前に受信を行い(受信のみが行えない場合は送受信を行い)、認証を受けてからメール送信を行ってください。

3-2. SMTP AUTH 設定方法(Outlook Express の場合)

Outlook Express を利用して SMTP AUTH の設定を行う場合のご案内をいたします。

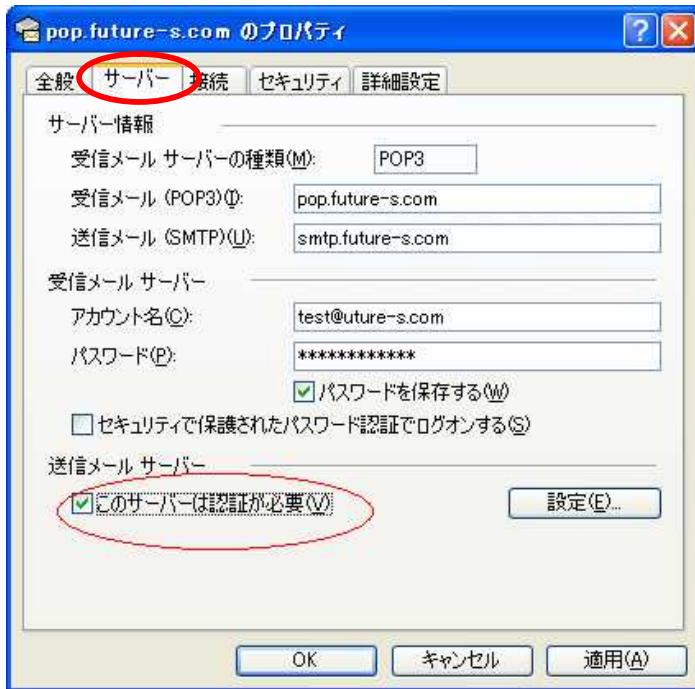


メールソフトを起動し
【ツール】 【アカウント】を
選択してください。



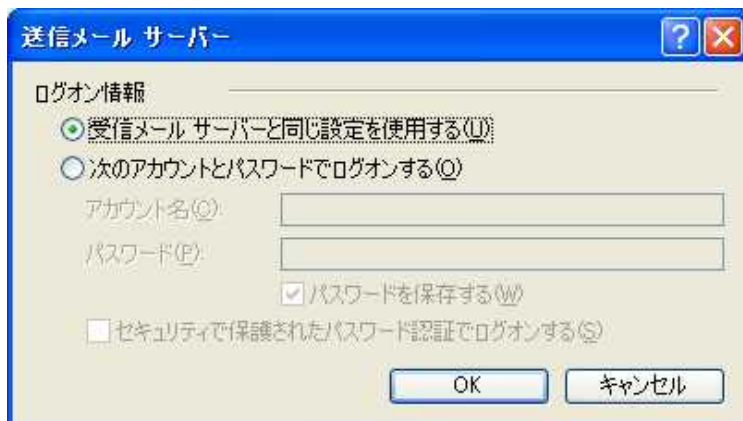
「インターネットアカウント」が表示
されますので「メール」タブをクリック
してください。

SMTP AUTH の設定を行う、該当
のアカウントをダブルクリックして
ください。



アカウントのプロパティが表示されますので
「サーバー」タブをクリックしてください。

下部にある「このサーバーは認証が必要」に
チェックを入れ、<設定>ボタンをクリックしてください。



「送信メールサーバーと同じ設定を使用する」に
チェックが入っていることを確認し、<OK>ボタンを
クリックします。

アカウントプロパティの画面に戻りますので <適用>ボタンを
クリックしてから <OK>ボタンを押してください。
インターネットアカウントが表示されますので <OK>ボタンを
押してください。

3-3. SMTP AUTH 設定方法(Mac Mail の場合)

Mac Mail を起動してください。



【Mail】 【環境設定】を選択してください。

【アカウント】が表示されますので、画面右下の「サーバー設定」をクリックしてください。

【SMTP サーバーのオプション】画面にて各種情報を入力します。



The image shows the 'SMTP Server Options' dialog box in Mac Mail. The '送信メールサーバ' (Outgoing Mail Server) field is empty. Below it, a warning message states: '以下の詳細オプションを変更するときは、事前にシステム管理者に確認してください。' (When changing the following detailed options, please confirm with the system administrator in advance.) The 'サーバのポート' (Server Port) is set to 587. The 'SSL (Secure Sockets Layer) を使用' (Use SSL) checkbox is checked. The '認証' (Authentication) dropdown is set to 'パスワード' (Password). The 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password) fields are empty. At the bottom, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and 'OK'.

送信メールサーバー

smtp.ドメイン名 と入力してください。

サーバーのポート

587 と入力してください。

認証

「パスワード」を選択してください。

ユーザー名

メールアドレスを入力してください。

パスワード

パスワードを入力してください。

<OK> ボタンを押すと設定が完了します。

第4章 スпамフィルター設定について

スパムフィルター設定では、自動振り分けルールとキーワード振り分けルールの設定が可能です。メールユーザーレベルで設定された場合、振り分けのルールはご利用のメールアドレスのみに適用されます。

4-1. メールユーザー用コントロールパネル(Plesk)にログインする



Parallels Plesk Control Panel 8.6
にログインする

ログイン名を"ログイン"に、パスワードを"パスワード"フィールドに入力し、"ログイン"をクリックして下さい

ログイン

パスワード

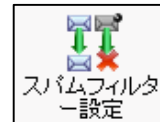
インターフェース言語

[パスワードを忘れましたか?](#)

<Plesk ログイン情報>
URL
https://お客様のドメイン:8443/

ログイン
ご利用のメールアドレス

パスワード
ご利用のメールパスワード

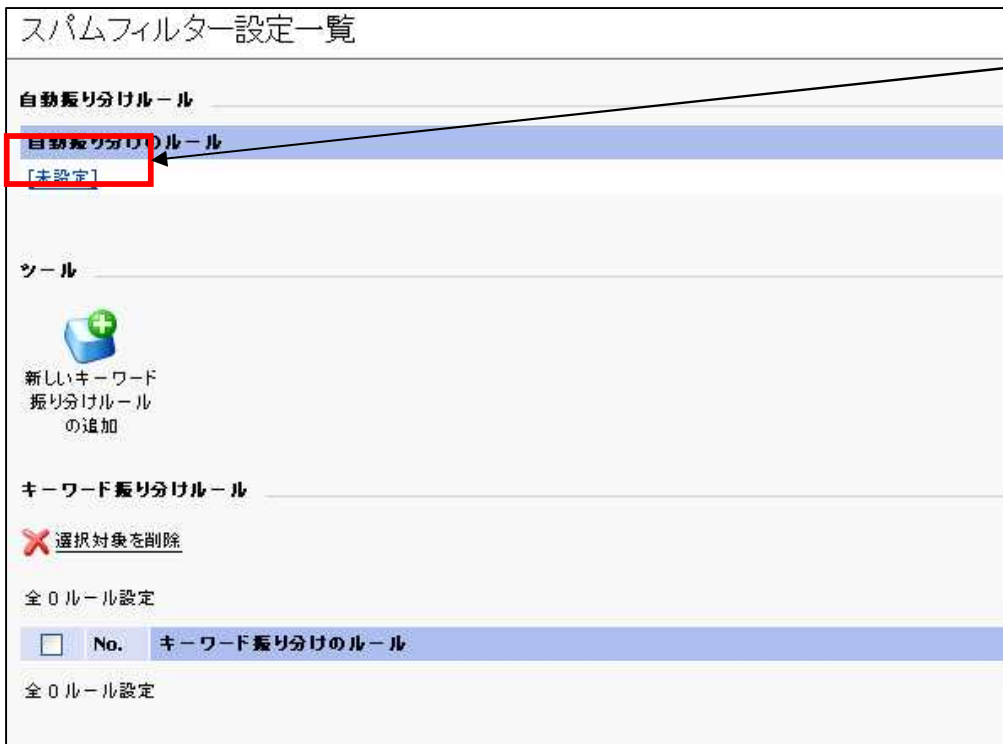


してください。

ログイン後、[ツール]グループのスパムフィルター設定のアイコンをクリック

4-2. 自動振り分けルール設定

スパム自動判定プログラム (McAfee) から与えられる評価点を利用したフィルタリング方法です。




スパムフィルター設定一覧


自動振り分けルール

自動振り分けルール
[未設定]

ツール

 新しいキーワード振り分けルールの追加

キーワード振り分けルール

 選択対象を削除

全0ルール設定

No. キーワード振り分けのルール

全0ルール設定

自動振り分けルールの【未設定】をクリックしてください。

自動振り分けルールの詳細設定画面が表示されます。

・ レベル

スパム自動判定プログラム (McAfee) からの評価点が高いほど、より迷惑メールである可能性が高くなります。自動振り分け設定では、この評価点を基準にフィルタリングを行います。レベルは、「強い」「やや強い」「標準(推奨)」「やや弱い」「弱い」の5段階となります。

レベルが「強い」ほど、より評価点の「低い」(迷惑メールである可能性の「低い」)メールが振り分けの対象となります。迷惑メールとみなされてメールを受信できない場合、[レベル]の値を弱くし、フィルタリングレベルを調節してください。

・ 処理 (迷惑メールと見なされたメールをどのように処理するか指定できます)

[該当のメールを削除する] 自動的にメールが削除されます。

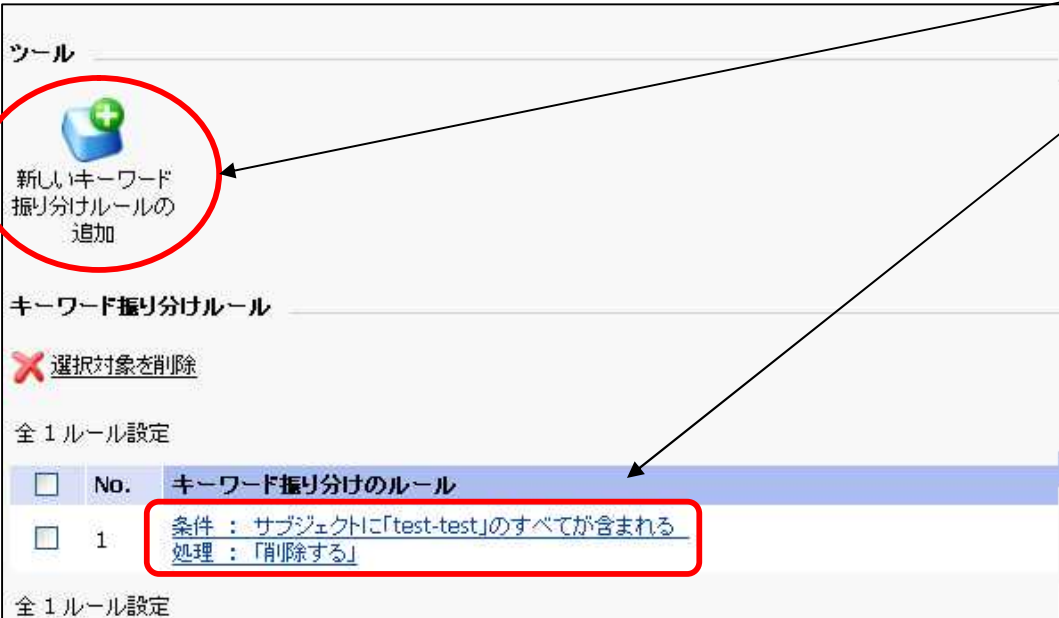
[該当のメールを下記アドレスに転送する] 設定されたメールアドレス宛にメールが転送されます。

転送先アドレスを複数設定する場合は、改行区切で入力してください。

設定が完了したら OK ボタンを押してください。

「自動振り分けルールがアップデートされました」と表示されたら設定完了です。

4-3. キーワード振り分けルール設定



新規作成の場合、[ツール]グループの[新しいキーワード振り分けルールの追加]をクリックします。

変更の場合は、変更対象の[キーワード振り分けのルール]をクリックします。

No.	キーワード振り分けのルール
1	条件 : サブジェクトに「test-test」のすべてが含まれる 処理 : 「削除する」

複数のルールが設定されている場合、「No.1」「No.2」...と降順にルールの評価が行われます。

・ 対象 (フィルタリングの対象となるメールの要素(件名・本文等)を指定します)

「サブジェクト」「送信元(From ヘッダ)」「宛先(To ヘッダ)」「Cc ヘッダ」「本文」「その他のヘッダ」から選択できます。任意のメールヘッダをフィルタリングする場合は「その他のヘッダ」を選択し、対象となるヘッダを設定してください。



・ **キーワード**（設定したキーワードが[対象]に含まれていた場合、迷惑メールと見なして処理を行います）
キーワードが複数の場合は、改行区切で設定してください。

「すべて」のキーワードを含む場合や、「いずれか」のキーワードを含む場合等の条件指定が可能です。

・ **処理**（迷惑メールと見なされたメールの処理を指定します）

[該当のメールを削除する] 自動的に削除されます。

[該当のメールを下記アドレスに転送する] 設定されたメールアドレス宛にメールが転送されます。

転送先アドレスを複数設定する場合は、改行区切で入力してください。

設定が完了したら<OK>ボタンを押してください。

「キーワード振り分けルールがアップデートされました」と表示されたら設定完了です。

キーワード振り分けルールを削除する場合、削除するルールのチェックボックスをチェックして[選択対象を削除]をクリックしてください。削除確認の画面が表示されますので、削除の確認にチェックをして、<OK>ボタンを押してください。

「キーワード振り分けルールが削除されました」と表示されたら削除完了です。

第5章 よくあるご質問

利用者の方から寄せられたメールの利用に関するお問い合わせを記載いたしております。

5-1. メールを送受信ができない

以下の対処方法をお試しください。

インターネットに接続できているか、確認する(ウェブの閲覧はできているか確認する)

接続が確認できない場合は、ご利用のプロバイダに状況確認をお願いいたします。

利用されているメールソフトの設定状況を確認する

どこに原因があるのか切り分けをするために、ウェブメールを利用して送受信ができるか試してみる。

ウェブメールでは問題なく送受信ができる場合、メールソフトの設定が原因である可能性がございますので、再度設定をご確認ください。パスワードの大文字、小文字の入れ間違いや、全角、半角間違いなどの場合もございます。設定が間違っていない場合でも、一度パスワードを入力しなおすこともお試しください。

設定確認や状況確認を行っていただき、問題が解決しない場合にはサポートセンターまでお問い合わせください。

メール送受信の際にはエラーメッセージなどが表示されますので、書きとめていただき、あわせてお知らせください。

5-2. ウェブメールを使いたい

FutureWeb2 では、「Plesk」に標準搭載されている Web メール「Horde」のご利用が可能です。

<http://webmail.ドメイン名> でログイン画面へのアクセスを行って頂けます。

「Horde」については、フリー（オープン）ソフトとなります。FutureWeb2 では、フリー（オープン）ソフトはサポート対象外となりますので、「Horde」の詳細についてはお客様にて参考文献をご確認いただくか、インターネットで検索し解説サイトをご確認いただけます様、お願いいたします。

5-3. メールを受信はできるが送信できない

インターネットプロバイダー（ニフティ、So-net etc）では、ウイルスメールやフィッシングメールをはじめとした迷惑メールの対策として、迷惑メールの送信を規制する「Outbound Port 25 Blocking（以下、OP25B）」という仕組みが採用されています。このため、インターネットプロバイダーの送信メールサーバー以外からは、通常の設定ではメール送信ができないようになっていきます。

「Outbound Port 25 Blocking（以下、OP25B）」を導入しているインターネットプロバイダーをご利用の場合、お客様側で FutureWeb2 のメールサーバーからメールを受信することはできますが、送信ができない場合がございます。

このような場合には、Submission ポート（メールソフトからのメール送信を受け付けるための専用ポート）の設定をすることで、メールの送信が可能となります。

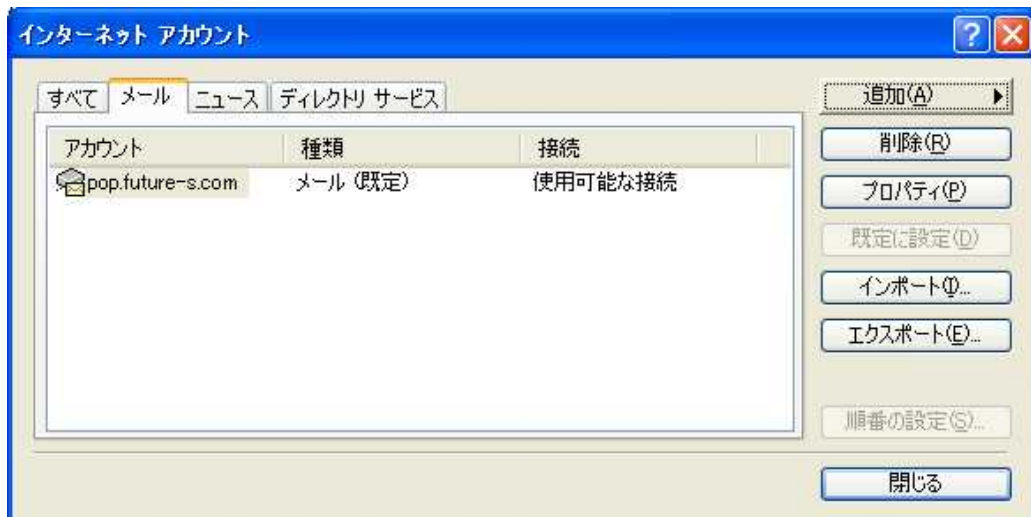
以下にて設定方法をご案内いたしておりますので、ご確認ください。

OP25B 対策についてのご確認はご契約のインターネットプロバイダー様にお問い合わせください。

Outlook Express の場合



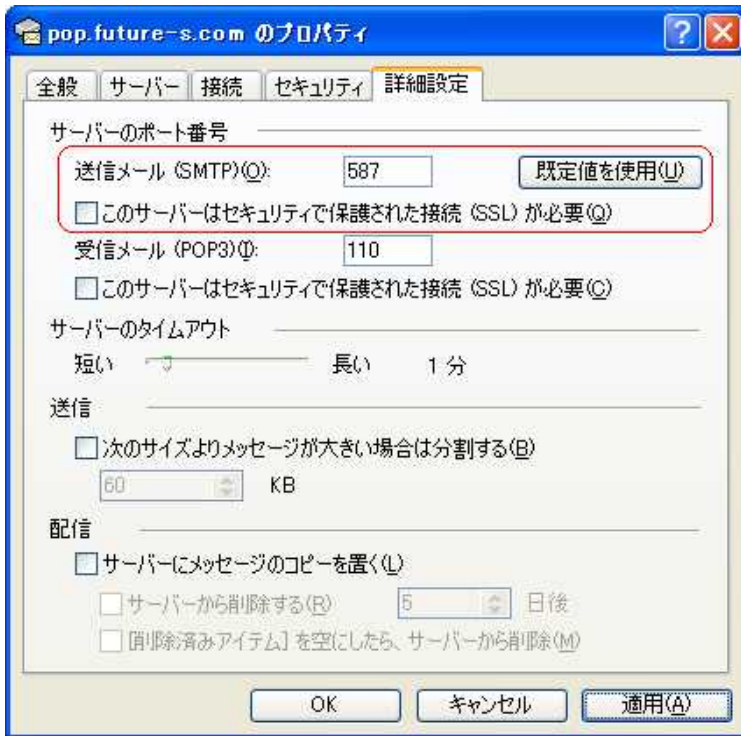
メールソフトを起動し
【ツール】 【アカウント】を
選択してください。



「インターネットアカウント」
が表示されますので「メール」
タブをクリックしてください。

SMTP AUTH の設定を行う、
該当のアカウントをダブルク
リックしてください。

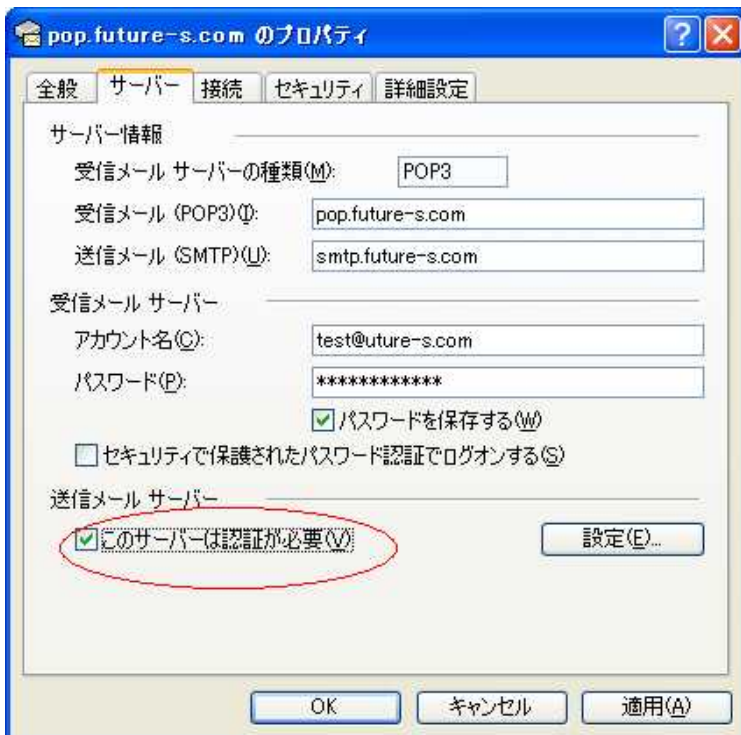
アカウントのプロパティが表示されますので「詳細設定」タブをクリックして下さい。



サーバーのポート番号 [送信メール (SMTP)] に 587 と入力してください。

入力できたら<適用>ボタンを押してください。

サーバー認証設定の確認を行います。
「サーバー」タブをクリックしてください。



[送信メールサーバー]の
このサーバーには認証が必要 にチェックが入っていることを
確認していただき、<OK>ボタンをクリックしてください。

インターネットアカウントが表示されますので <OK>ボタンを押してください。